

9月24日（土）・25日（日） 第2回EAJS（日本研究ヨーロッパ協会）日本会議が開催されました

9月24日・25日 第2回EAJS（日本研究ヨーロッパ協会）日本会議が開催され、世界中からおよそ200人の日本研究者が集まり、熱のこもった議論が展開されました。



EAJSは、ヨーロッパの日本研究に関する諸学会の連合体でヨーロッパを中心に活動を行っている学会ですが、日本で学んでいる/研究しているEAJSメンバーが集える場・報告できる場を日本でも設けたいとの趣旨で、4年前にEAJS日本会議が始まりました。3年に1度の開催ということで、神戸大学との共催の今回が第2回大会でした。

<http://www.lit.kobe-u.ac.jp/event/2016-08-12-01.html> (EAJS日本会議のHP)

文学部・瀧川会館・六甲ホールを中心に、11会場で分科会があり、言語学・人類学・文学・経済学・歴史学・学際的研究など、100をこえる報告がなされました。イギリスからロシアまでヨーロッパ中から、さらにはヨーロッパだけではなく、韓国や台湾、もちろん日本からもたくさんの方が参加し、真に国際色豊かな大会でした。日本各地の大学院に留学中の研究者のタマゴたちがたくさん参加していたことも印象的でした。



分科会で報告するだけでなく、久しぶりに再開した研究者仲間、はじめてあった研究者どうしで、尽きることのない議論が、学舎のそこかしこで。



会長あいさつをされる、オックスフォード大学のフレズビック教授。

およそ200名の参加者でしたが、100名以上が懇親会にも出席し、神戸の夜景をバックに、和やかなひとときを過ごしました。灘の酒、和太鼓の迫力ある演奏も加わり、とっても賑やかな一夜でした。



大会は終わってしまいましたが、まだプログラムは残っています。興味を持たれた方は3年後に開催される次回大会を楽しみにお待ち下さい。

<http://www.lit.kobe-u.ac.jp/~eaajs2016/Conference%20programme.pdf> (大会プログラム)